



※ 「<成果指標2>花巻市学力向上策の要点」に係る令和6年度目標値設定資料（平成30年度策定、令和元年度部分改定）です。令和元年度から3年度までの3力年で、岩手県実績値の最高値を花巻市令和4年度以降の目標値に設定しています。ただし、岩手県令和5年度実績値が花巻市令和5年度目標値を上回った場合、花巻市令和6年度目標値は岩手県令和5年度実績値に更新しています。

学力向上策	指標項目（県学調 児童生徒質問紙 肯定回答）	学年	対象	H30実績	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6目標	学年	対象	H30実績	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6目標	備考
学級・学年の充実 学実	1 学校に行くのは楽しいと思いますか	小5	市県	90 88	83 85	87 87	88 87	81 85	84 85	87	中2	市県	88 88	86 86	87 86	81 84	85 85	84 86	86	
	2 自分にはよいところがあると思いますか	小5	市県	78 78	69 76	73 74	76 73	68 73	71 72	78	中2	市県	71 74	70 71	72 72	71 71	74 72	76 76	71	花巻市3期計画指標
	15 先生やまわりの人は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか	小5	市県	78 80	75 79	78 80	80 80	80 81	81 81	81	中2	市県	82 82	79 82	83 83	80 82	83 84	86 86	更新 86	
	19 R1～R4学級は、お互いに助け合ったりお互いのよさを認め合ったりできている学級だと思いますか R5～新規授業や学級活動の話し合いで、自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか	小5	市県		77 83	82 86	89 89	83 87	新規 73 73	新規 73	中2	市県		85 84	88 87	86 88	89 88	新規 73 76	新規 76	R5 質問紙項目内容変更 R4 以前データ比較不能
	22 R1～学級には、授業中の先生からの質問や、教科書の問題の答えなどについて、間違っても認めあえる雰囲気がありますか	小5	市県		81 83	84 86	87 86	84 85	86 85	86	中2	市県		86 86	88 88	87 88	88 88	88 88	88	
学習者主体の授業改善	26 R1～授業では、学級の友達との間で話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり広げたりすることができますか	小5	市県		82 83	81 82	82 82	84 82	81 80	83	中2	市県		84 87	86 87	83 85	86 87	85 86	87	
	20 R1～授業中、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいると思いますか	小5	市県		79 82	80 82	86 83	84 82	76 78	83	中2	市県		73 78	84 83	83 82	82 82	80 80	83	R5 小5 経年課題
	21 R1～授業中の振り返る活動で、その時間の学習内容で何が大切だったか分かったと感じていますか	小5	市県		90 91	90 90	92 90	88 88	84 87	91	中2	市県		83 86	87 88	88 88	87 87	86 86	88	R5 小5 経年課題
	23 R1～先生は、あなたが授業やテストでわからなかったところや、理解していないところについて、分かるまで教えてください	小5	市県		86 91	91 92	93 93	92 92	90 90	93	中2	市県		84 86	91 90	88 91	91 91	89 90	91	
家庭学習の抜本的改善	7 学校の授業以外で、1日にどれくらいの時間、勉強しますか（小5・6年→1時間以上、中→2時間以上、勉強している）	小5	市県	74 71	71 69	73 73	76 69	69 67	57 63	73	中2	市県	20 22	18 21	20 25	16 20	19 20	17 18	25	R5 小5 経年課題 全国学調中3は35%以上
	8 家で、自分で計画を立てて勉強していますか	小5	市県	67 66	67 68	70 70	72 69	69 69	63 66	70	中2	市県	45 47	49 51	52 54	53 52	52 52	50 50	54	R5 小5 経年課題
	9 R1～学校の宿題などに加え、弱点を克服する学習に取り組んだり、発展的な問題に取り組んだりしていますか	小5	市県		61 65	61 67	68 67	64 68	64 65	68	中2	市県		51 53	58 59	57 58	61 60	59 58	60	

【解説】かつて県と同等以上に望ましい回答傾向を示していた児童生徒質問紙調査の課題が顕在化している近年の状況は、小学校の学力低下が進行して現中3以降の学年で著しく学力が低下している近年の傾向と似ています。児童生徒の学力や意識はここ数年間で忽然と課題が顕在化してしまったのはなぜなのか、残念ながら要因を特定できる証拠は十分ではありませんが、考えられる要因については早急に躊躇なく改善に着手することが必要です。特にR5小5は、「学習者主体の授業改善」に係る「授業中、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいると思いますか」「あなたは授業中の振り返る活動で、その時間の学習内容で何が大切だったか分かったと感じていますか」、「家庭学習の抜本的改善」に係る「学校の授業以外で、1日にどれくらいの時間、勉強しますか」「家で、自分で計画を立てて勉強していますか」は過去最低を大きく更新し、この表に掲載していない「自主学習の取組」に係る「学校の宿題だけでなく、自主学習に取り組んでいますか」も県を大きく下回っています。これらは学びに立ち向かう意欲が弱く学力低迷の大きな要因と考えられます。また、同様にこの表に掲載していない「調査問題への取組」に係る「解答しようと努力した」はR5小5、R5中2ともに課題があり、幼少期から育まれる非認知スキルと関わる学力低迷の要因と考えられます。